

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和 7 年度病害虫発生予察防除情報 第 6 号を発表します。

5 月下旬以降、シロイチモジヨトウのフェロモントラップでの誘殺数が増加しています。野菜類、花き類圃場^ほにおける発生状況に注意して、適切な防除指導をお願いします。

令和 7 年度病害虫発生予察防除情報 第 6 号
シロイチモジヨトウの発生状況と防除対策について

- 1 対象作物 野菜類（ねぎ、ピーマン等）
 花き類（カーネーション、きく、トルコギキョウ等）
- 2 病害虫名 シロイチモジヨトウ
- 3 発生地域 県内全域
- 4 発生状況と今後の予想について

- （1）県内 3 か所に設置しているシロイチモジヨトウ用のフェロモントラップにおいて、5 月下旬から誘殺数が増加し、6 月以降、平年を上回る誘殺が認められている（図）。5 月 4 半旬から 6 月 3 半旬の合計誘殺数は、加西市で平年の 1.8 倍、南あわじ市で同 2.6 倍、朝来市で同 2.9 倍と平年より多い。
- （2）気象庁の近畿地方の 1 か月予報（6 月 19 日発表）によると、気温は平年より高く推移するとされている。シロイチモジヨトウの活動に好適な条件が続き、幼虫による被害が発生する恐れがある。

5 防除上の留意点

- （1）加害作物は、ねぎ、ピーマン等の野菜類から、カーネーション、きく、トルコギキョウ等の花き類と広範囲におよぶ（写真 1）
- （2）卵は鱗毛で覆われた卵塊で産み付けられ（写真 2）、孵化直後の若齢幼虫は集団で加害する（写真 3）。卵塊や分散する前の若齢幼虫の早期発見に努め、速やかに捕殺する。
- （3）成虫の産卵防止対策には防虫ネット（目合 4mm 以下）、黄色防蛾灯^が、性フェロモン剤（交信かく乱剤）の利用が有効である。
- （4）中・老齢幼虫（写真 4）には殺虫剤の効果が低くなるので、薬剤防除は若齢幼虫期に行う。シロイチモジヨトウは全国的に薬剤抵抗性の発達事例が多く報告されており、本県でも一部の薬剤で殺虫効果が低い事例を認めているため、薬剤散布後も防除効果の確認に努める。
- （5）防除薬剤は農作物病害虫・雑草防除指導指針等を参考に選定し、農薬使用基準を守る。



写真1 シロイチモジヨトウによる被害（左からねぎ、カーネーション、トルコギキョウ）



写真2 シロイチモジヨトウの
卵塊と孵化直後の幼虫



写真3 若齢幼虫（集団で加害）



写真4 中・老齢幼虫（体色は黄緑色～黒褐色と多様）

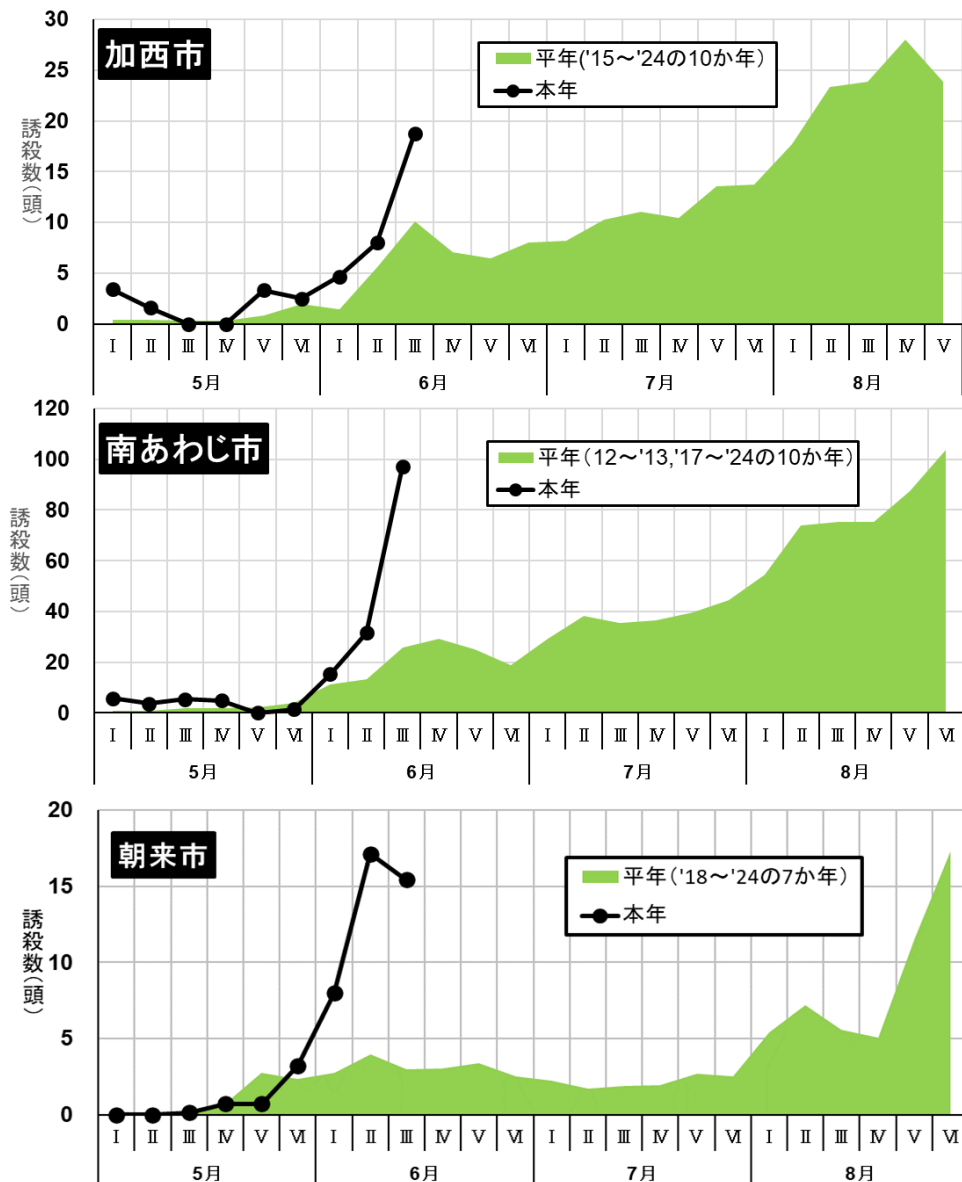


図 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウ誘殺数の推移

*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

*農作物病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)にて情報発信中。
フォローをお願いします。
Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujosho)

